

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

施策名 (小項目)	青少年教育	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		03-02-02	氏名	谷口富祥	
			電話	64-1841	

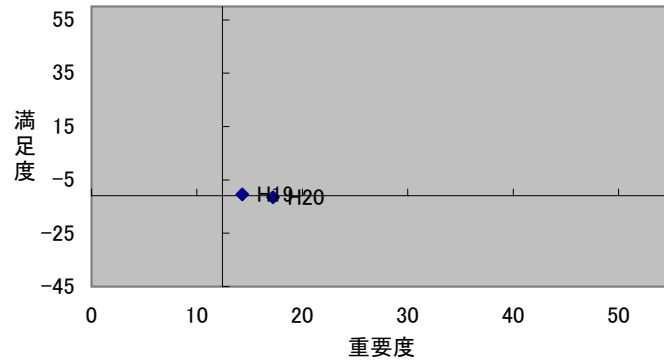
備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	地域文化とひとが輝くまちづくり
	中項目(基本施策)	生きがいのあるまちづくり

① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	20歳未満の青少年の健全な育成を期す
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	青少年健全育成本部との連携のもと、環境浄化、相談活動、啓発活動を実施し、これらの活動により青少年非行傾向は減少傾向にある。しかしながら、非行の芽は誰にも常に存在しており、健全育成に向けた事業実施は今後も不可欠なものとなっている。また、幼児期・思春期における家庭教育支援も重要な施策となる。
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育の充実 青少年健全育成活動の充実 青少年の主体的活動の促進

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	14.3	17.2	
満足度(%)	-10.4	-11.5	



<p><見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p>	<p><維持領域> 現状の方向を継続</p>
<p><検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要</p>	<p><強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>

高 ↑ 満足度 ↓ 低

低 ← 重要度 → 高

調査結果に対するコメント、市民の反応等	「地域の子どもは地域で育てる」という気運が高まりつつある。各地区のボランティアによる青少年健全育成会をはじめ、保護者、教職員からのニーズは高い。
---------------------	--

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 街頭指導(パトロール)	回数	350	450	420	400	400	400		専任指導員・地区指導員が市内各地域において街頭指導を行った回数
	実績	326	422	334					
	達成率	93.1	93.8	79.5					
2 相談件数(育成センター専任指導員)	件数	70	70	70	70	70	70		青少年育成センターへの電話相談及び訪問相談
	実績	60	65	49					
	達成率	85.7	92.9	70.0					
3 備前市青少年健全育成推進大会参加者数	人数	400	400	400	400	400	400		市内青少年健全育成に携わる関係者の参加
	実績	440	428	416					
	達成率	110.0	107.0	104.0					
4	目標								
	実績								
	達成率								

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初予算		
				H17			H18			H19					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 放課後子どもプラン事業	C	放課後子ども教室推進事業	国県補助事業								250	0.03	☆	\$	0
2 青少年健全育成事業	B	青少年健全育成推進本部補助事業	その他単市	2,500	5,975	0.60	1,800	5,200	0.60	1,800	4,094	0.50	☆☆	\$ \$	1,500
		青少年育成センター運営事業	その他単市	11,361			11,033			9,977				☆☆☆	\$ \$ \$
3 青少年活動支援事業	C	備前市青年協議会補助事業	その他単市	327			327			327			☆	\$ \$	327
		備前市FOS少年団補助事業	その他単市	381	1,415	0.15	381	1,300	0.15	381	150	0.02	☆☆	\$ \$	381
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)								
				14,569	7,390	0.75	13,541	6,500	0.75	12,485	4,494	0.55	12,189		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
地域住民・防犯団体	地域での防犯・パトロール活動	「地域の子どもは地域で育てる」という気運の醸成を図り、より広範囲での事業展開が期待できる。

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
評価	判断理由	評価	判断理由	
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	3	青少年育成センターを始め、備前市青少年健全育成推進本部の活動内容等、市民の認知度はまだ低い。	3	同左
2 事業構成の適当性	3	厳しい財政状況にあり、経費を伴う事業展開の拡大は難しい状況にある。	3	青少年の健全育成に必要な不可欠な事業構成であるが、家庭の教育力充実事業については、細事業の内容を含め検討・工夫が必要。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	3	青少年健全育成活動は、街頭指導や相談業務など継続した地道な取組みを行っている。ほぼ例年通りに推移している。	3	指標の数値は低下しているが、いずれの事業も健全育成には必要な施策である。放課後子ども教室推進事業については、今後の検討課題である。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	青少年健全育成への取り組み方や手法が地域で異なり、合併後の新体制づくり移行後も種々問題が生じている。特に、日生、吉永地域の健全育成会とは、十分に意見交換し、問題点の解消に努める。			「地域の子どもは地域で育てる」という気運をより一層広げていくための工夫と、家庭の教育が低下している状況を踏まえた施策の展開が必要である。
二次評価者コメント	継続的な取組みが必要な事業で成果も見えにくいだが、相談事業や街頭指導、啓発活動・情報提供など地域住民や各種関係団体と連携し、健全育成活動の推進を図っていく必要がある。また、家庭の教育力の向上が大きな課題の一つである。			基本施策への貢献度 3中立